



やまほうしだより



令和8年3月2日
八王子市立船田小学校
特別支援教室やまほうし



昼頃には温かさが感じられ、春の足音が聞こえてくる季節になってきました。3月に入り、いよいよ3学期最後の月がスタートしました。子どもたちには、進級や卒業に向けてさまざまな取組がスタートしたことから、どこかソワソワしている様子が見られます。

やまほうし・やまゆりでは、最終指導日に行く「卒業・進級を祝う会」に向け、準備や話し合いをして、まとめの段階へ入っていきます。

残りの1か月は進級や卒業が近付いてくるにつれ、緊張感が現れたり、大人に近づくうえで起こる気持ちの変化によって気持ちが不安定になったりします。そこで、個別の授業で悩みや心配事の話の聴いたり、見守ったりして子どもたちに寄り添って指導をしていきます。

2月に行った授業の紹介

①感情理解『どんな きもち?』

第1週は自己理解・他者理解として、「うれしい」「かなしい」「いかり」「おだやか」「ふあん」などの感情を色で表した絵本「カラーモンスター」の読み聞かせをし、さまざまな感情を表す言葉を知りました。

気持ちクイズや気持ちチップでは、様々な場面を想定し、そのとき、自分はどんな気持ちになるのか?と改めて自己を見つめる活動を行いました。また、同じ場面でも、自分と友だちの感じ方の違い、気持ちの違い、考え方の違いに気付き、他者理解につなげることができました。



②相手を意識しよう『サイレントミッション』

第2週目は、しゃべることができない状況で、相手の伝えたいことを汲み取り、自分の意思を伝え、「誕生日順に並ぶ」「パズルを完成させる」「輪投げをキャッチする」「散らかった物を片付ける」といった4つのミッションにチャレンジをする活動をしました。

児童たちは、指を使ってジェスチャーをして一生懸命コミュニケーションをとっていました。ミッションをクリアすると、達成感があり、とてもうれしそうに喜んでいました。



③自分も友だちも笑顔に『お楽しみ会の計画』

やまほうし・やまゆりでは毎学期、お楽しみ会を行います。子どもたちは、お楽しみ会の内容、役割を自分たちで考え、折り合いながら話し合い、決めるという活動をしました。自分の意見を伝えたり、友だちの意見を聞いたりしながら上手に話し合っていました。自分の意見だけを通そうとするのではなく、友だちの希望も聞いて受け入れて話し合う姿が見られ、この一年で大きく成長したと感じさせられました。

個別の授業で、自分の役を全うするために台本を作ったり、内容を確認したりして準備を進めています。



④役割意識・協力『協力!ボウリングゲーム!』

2月最後の活動は、ボウリングゲームでした。「転がす」「ピンを並べる」「ボールを渡す」「得点を記録する」の4つの役割に分かれ、5分間交代しながらできるだけ多くボウリングをして、なるべく多く点数を目指す活動をしました。ただボウリングゲームをするのではなく、自分の役割を意識するだけではなく、周りを見て、必要に応じて手伝うなどで協力したりしてチームで一丸となって協力しながら高得点を目指しました。1回目と2回目のチャレンジの間に設けた話し合いタイムでは、「自分の役割が終わったらまだ終わっていない人を手伝おう。」などと、周りを見て行動しようとしている姿が見られ、とてもすばらしいと感じました。



○3月個人面談について

平素より特別支援教室やまほうし・やまゆりの教育活動に、ご理解とご協力いただき、ありがとうございます。3月16日から拠点校船田小学校にて、個人面談を行います。来年度へ向け、引継ぎや指導時間の確認、学校やご家庭での様子の共有などを行います。日程に関しましては先月お配りした個人面談日程表をご確認ください。

万が一、ご都合が合わなければ、連絡帳や電話などでお知らせください。

お忙しいところ恐れ入りますがよろしくお願いいたします。

月・水・金曜日…船田小学校 042-664-1482

やまほうし直通 042-664-7060

火・木曜日…城山小学校 042-664-3967